



国民春闘共闘

2024年度 第14号
2024年3月26日

国民春闘共闘委員会
〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館
03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

24国民春闘 3・14全国統一行動



回転寿司ユニオン 10%以上の賃金引上げを求めて“非正規春闘”

東京公務公共一般、首都圏青年ユニオン、出版情報関連ユニオン、生協労連などが参加する非正規春闘実行委員会では、「10%以上の賃上げ」「正規・非正規の均等待遇」「全国一律最低賃金1500円の即時実現」を求めて、3月中旬から3月末にかけて大企業を含む15社に対するストライキ行動を展開しています。

回転寿司ユニオン（首都圏青年ユニオン回転寿司分会）では、3月11日から14日にかけて宮城、東京（2店舗）、徳島の“スシロー”で働く仲間がストライキに立ち上がりました。3月13日には、東京・丸の内駅の運営会社前で支援者など40人が参加してのストライキ集会が行われ、多くのマスコミが取材に訪れました。

翌14日には徳島でストライキが行われました。スシロー吉野川店では、組合員は1人ですが昨年の春闘で時給900円から1,000円に大幅引き上げを勝ち取りました。しかし、今年の回答は僅か時給20円の引き上げでした。ストライキ集会には、JMITU ジェイテクトシーリングテクノ支部が指名ストで支援に入ったほか、医労連や建交労、県国公、徳島建労、中部労連の仲間、首都圏青年ユニオンからも同じスシローで働く青年3人と事務局長が東京から駆け付け行動と集会を成功させました。



建交労・京王新労組 誇りをもってストライキ！

京王バスで働く9人の仲間が、月額38,000円の賃金引上げ要求に対して3,000円の低額回答に抗議して24時間ストライキに立ち上がりました。3月14日、東京・聖蹟桜が丘駅前にある京王電鉄本社前で10時から行われた怒りのストライキ決起宣伝行動には30人が支援に駆け付けました。

ストライキ集会で、佐々木委員長は「コロナ禍での減収を理由に一時金がカットされた。今まで労働者を低賃金で使い儲けた分を大幅賃上げで還元すべきだ」と訴え、「大幅賃上げ、長時間勤務・残業競争させる評価制度改善をめざして、要求を闘って勝ち取る労働組合の誇りをもってストライキに立ち上がった」と力強く語りました。

愛知国民春闘共闘・愛労連 6割弱の人が「7万円以上」の賃上げが必要

2024 国民春闘勝利！全国統一行動に呼応して3月14日の夕刻、名古屋駅前で宣伝を行い43人が参加しました。

ティッシュ入りチラシの受け取りも良く、910部のチラシを配布しました。

前日13日の“24国民春闘「賃上げ回答速報特別番組」全国中継・YouTube LIVE”も大画面で上映。「あなたは賃上げがいくら必要ですか？」のシールアンケートには60人の協力がありました。月給者は57.7%が「7万円以上」と回答しました。時間給者には「最低賃金をいくらに引き上げるべき？」と聞き、回答者34人のうち32.3%が「1,500円」、38.2%が「2,000円以上」という結果になりました。



愛知では、14日に医労連、JMITU、15日には郵政ユニオンがストライキを決行。両日で8組合98人がストライキに入りました。

医労連ではペアゼロ回答に抗議し、県内5組合がストに突入しました。南医療生協労組は、かなめ病院前で17年ぶりのストライキを実施。元職員や地域の方も応援にかけつけてくれました。

名南会労組は、組合員30人が参加し、名南病院と名南ふれあい病院前でストライキ集会を行いました。テレビ取材も2社入り、夕方のニュースで報道されました。

郵政ユニオン愛知県協は4人がストライキに決起し、JPタワー前での支援集会には37人が参加しました。通行する人も多く、集会アピールのビラを多くの方が受け取りました。



回答促進強化旬間 4月1日～13日